

SELIP
Support of
Employment,
Living and
Participation

KSKT
せるぷる
~Selp People せるぷのひとびと~

No. 35
〈発行〉
関西障害者定期刊行物協会
大阪市城東区東中浜2-10-13
緑橋グリーンハイツ1F
〈編集〉
せるぷる編集委員会
神戸市中央区脇浜町1-2-3
西山ビル602

兵庫県社会就労センター協議会・特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター

平成18年度 定期総会



平成18年度定期総会 および記念講演会を実施

6月5日(月)13:00～神戸市東部在宅障害者福祉センター2階多目的室にて、兵庫県社会就労センター協議会平成18年度定期総会を開催。平成17年度の収支決算報告及び事業報告並びに平成18年度の収支予算と事業計画が決議承認されました。また、会則改訂(年会費3,000円を5,000円に変更)についても決議承認されました。

14:00から厚生労働省 政策評価審議官 村木厚

子氏を講師にお招きして、「就労系事業の今後について」と題して記念講演会を開催しました(詳細は次ページ)。

記念講演会に引き続いて16:00からは特定非営利活動法人兵庫セルフセンター平成18年度定期総会を開催しました。平成17年度の収支決算報告及び事業報告並びに平成18年度の収支予算と事業計画が決議承認されました。

二〇〇三年十一月二十七日 第三種郵便物承認 毎月十二回発行(二、四、六、八の日) 定価十円

兵庫セルプ總會記念講演

就労系事業の今後について



平成18年6月5日（月）14:00～
神戸市東部在宅障害者福祉センター2階多目的室にて、厚生労働省 政策評価審議官 村木厚子氏を講師にお招きし「就労系事業の今後について」と題して記念公演会を開催しました。現在の障害者福祉施設関係者もスタートしたばかりの新法の下、不慣れで煩雑な事務処理に追われながら次に迫り来る新事業体系への不安や不満を一杯抱

えていることと思います。しかし一方で、施設の運営は格段に厳しくなるものの新法が掲げる理念は誰もが願っていることであり、この理念を如何に実現させていくのか、どの施設も懸命に模索し検討しているところでもあります。

厚生労働省 政策評価審議官 村木厚子氏を講師に

就労系事業の今後についてご講演いただきました。

この時期、まさに自立支援法を作り上げてこられた村木氏の講演は大変関心も深く、会場一杯に詰めかけた参加者は一言一句聴き漏らさじと熱心に聴いていました。

はじめに「働く」の“因数分解”と称し「今までなぜ進まなかったのか、どうやったら働けるのかを施設も真剣に考えてほしい。働くためにまず企業探しであるが、その後の職場定着、離職後の受け皿作りが如何に重要であるか」との提言がありました。さらに続けて「新事業の『就労移行支援事業』は、生活習慣・体力作り・挨拶をはじめ、実習（実践的訓練）・職場探し・アフターケアに至るまで一貫して就労支援に取り組む事業であり、就職後は『障害者就業・生活支援センター』で働き続けられる支援をし、リタイアした場合は『就労継続支援事業』で一旦福祉へ戻り再挑戦していく流れである」

「就労については送り出す施設だけが頑張るのではなく、ハローワークをはじめ様々な社会資源をネットワーク化し充分活用して進めていって欲しい、新体系全体の20%を「就労移行支援」事業と考えており、平成23年度までには施設からの就労者を今の4倍（2,000人⇒8,000人）にすることを目標とし、現在各都道府県においてこの目標に沿って計画を作っている」とのことでした。

就労に向けて本格的に取り組むためには、施設も本人・家族もまだ多くの課題を抱えています。ここに来てもう後戻りはできません。とにかく前に進むしかないのだと改めて感じさせられました。

お話の中で、重い障害を持つ人が仕事ができるようになった企業の実例を上げられ、「仕事には本人の力を伸ばす魔力がある」と言われていましたが、これは私自身日々感じていることであり多に共感しました。

最後に、この自立支援法によって「国会議員が変わった」⇒「市長が変わった」⇒「自治体は、いわゆる“いい人”を福祉に廻してくる」「マスコミも大きな関心を持っている」⇒否応なしに障害福祉への関心が高まっているこのチャンスを活かして前向きに取り組んで欲しい、と締めくくられました。

（大野セツ子協議員）

平成18年度

兵庫県 知的障害者

職場研修事業開始

平成18年7月3日(月)～11月30日(木)

本年度も7月3日より兵庫県知的障害者職場研修事業が開始されました。

今年の研修先は、北播磨県民局、県庁障害者支援課、神戸県民局、但馬県民局、丹波県民局、淡路県民局の5局1課で各1名が7月3日から11月30日までの5ヶ月間研修を行います。たくさんの方が研修の希望を申し込まれ、面接の時には受け入れる職場の人たちも頭を悩ませながら、面接を行いました。



7月3日の研修の初日には、研修生のみなさんが緊張しながらも、初めてパソコンを使ったり、訂正シール貼りや新聞記事のスクラップなどの仕事を一生懸命されていました。「パソコンを使ってみたい」

「もっと色々な仕事の挑戦したい」など、新しいことに挑戦するガッツにあふれております。

今後研修を通して、外で働くことを感じ・経験してもらい、また就労にむけて、受入先、ハローワーク、施設とも連携をとりながら進めてまいります。

平成18年度研修生のみなさん

- 北播磨県民局/松尾さん (小野起生園)
- 兵庫県庁 障害者支援課/若林さん (ワークホームつつじ)
- 神戸県民局/濱野さん (名神あけぼの園)
- 淡路県民局/藤村さん (コスモス作業所)
- 丹波県民局/中澤さん (ふれあいセンター)
- 但馬県民局/山本さん (とよおか作業所)





神戸ふれあい工房 からのお知らせ

「夏休み体験コーナー」 クラフトなどの指導をしてくださる作業所を募集しています

神戸ふれあい工房では昨年、好評をいただきましたワークショップ【体験コーナー】を開催して下さる施設・作業所を、今年も募集しております。みなさまのオリジナル商品が出来るまでの工程を、子供からシニア世代までたくさんの方々に体験させてあげてください。※申し込み締切日/8月15日(火)まで

- 場所/神戸ふれあい工房 ギャラリーコーナー
神戸市中央区東川崎町1-2-8 デュオこうべ浜の手
- 開催期間/7月28日(金)～8月31日(木)まで
- 内容/1施設につき期間内の1日
- 申し込み締切日/8月15日(火)まで
- 施設への支払い金額/販売価格×80%
※ただし事務処理の都合上100円未満の端数は切り捨てさせていただきます。
- 搬出・搬入について/当日持ち込みをお願いいたします。
発送される場合は前日の午後指定でお送りください。
- その他、詳細はこちらまでお問い合わせ下さい。
TEL078-367-5321 神戸ふれあい工房 担当/宮本



体験コーナー以外でも
ギャラリー使用を希望される
作業所を募集しています。
詳しくはお問い合わせ
ください。

開催予定のワークショップ (7月22日現在)

- ★7月28日(金) ウッドビーズで作るストラップ (工房 彩)
- ★8月3日(木) 押し花ファイル、押し花バック作り (フレンズハウスたるみ)
- ★8月6日(日) 葉(しおり)・古切手づくり (誕生日ありがとう運動本部)

福祉の お店紹介 SHOP ③

みんなのふれあい福祉ショップ『テルベ』(加古川市)

このコーナーでは、授産製品を販売している福祉のお店をご紹介します。今回はこの春、オープン9周年を迎えた、みんなのふれあい福祉ショップ『テルベ』さんをご紹介します。

●お店の紹介をお願いします。

福祉ショップ『テルベ』は、ハンディキャップを持つ方々や支援者の皆さんが、まごころを込めて製作した手作り品を展示、販売することにより、社会参加を支援しています。現在、加古川市内外の28施設、団体の商品を販売しています。

●売れ筋商品・人気商品はどのようなものですか？

定番商品では、天然素材の石けん類や陶器類などが売れています。手芸品ではパッチワークの小物や、さをり織り製品がプレゼントなどにも喜ばれています。最近のヒット商品は、タオルを洋服の形に仕立てたお手拭きタオルで、かわいいと評判です。

●授産製品の販売で心がけていることはありますか？

1つ1つが手作りの製品なので形や色合いなどみな違ってきます。作品のぬくもりや風合いをお客様にお伝えしながら、季節感を盛り込んだ商品を店頭並べられるように心がけています。また福祉施設の皆さんには、お客様の声をお伝えしたり、新商品の開発依頼、包装・パッケージデザインなどの工夫をお願いしたりすることで、さらに多くのお客様に喜ばれる商品の提供を目指しています。

●これからやっていきたいこと

『テルベ』とはフランス語で『緑の大地』という意味です。テルベを通してやさしさや思いやりの心が根づいてほしいと願っています。福祉施設の利用者さんのメッセージを、地域のみなさんにお伝えしていく発信基地になれたらいいと考えています。



天然素材の石けん各種

お手拭きタオル

■みんなのふれあい福祉ショップ『テルベ』

営業時間/10時～20時 定休日/年中無休
TEL/079-435-3131 (イトーヨーカ堂 加古川店・代表)
住所/加古川市別府町緑町2番地 イトーヨーカ堂 加古川店 1F
設置主体/加古川市社会福祉協議会 運営主体/加古川市をつなぐ育成会
店長/澤井 はる子さん
〈商品や販売についてのお問い合わせは〉
TEL/079-437-4122 (テルベ事業部/平日9時～12時)

平成18年度「人権文化をすすめる県民運動」

ひょうご ヒューマンフェスティバル 2006 in とよおか

■開催日時/平成18年 8月5日(土) 10:30~16:30

■会場/豊岡市民会館(豊岡市立野20番34号)、じばさん但馬(豊岡市大磯町1番79号)



平成18年8月5日(土)に兵庫県豊岡市にて「ひょうご・ヒューマンフェスティバル 2006 in とよおか」が開催されます。障害のある人の社会参加の促進などユニバーサル社会づくりの理念と実践と発信する機会として、毎年兵庫県内で開催されています。

昨年も施設・作業所が授産製品の販売などで出店しましたが、今年も兵庫セルフセンターの他に、但馬地方の7作業所が豊岡市民会館前の広場にて出店する予定です。

また、豊岡市民会館の文化ホールでは、日本ユニセフ協会大使でもあるアグネス・チャンさんが人権講演会に出演されます。ラジオパーソナリティの谷五郎さん、ギニア日本交流協会顧問でテレビでお

なじみのオスマン・サンコンさん、歌手の平絵理香さんなどが出演される予定です。他の会場でも映画上映、体験教室など、さまざまなイベントが行われます。ぜひみなさんご参加ください。

出店予定の作業所

作業所名	内容
いずみ共同作業所	木工品、ビーズ、リサイクル品など
小規模作業所はばたけ	クッキー
小規模作業所すい一つ	氷カフェ
共同作業所「豊岡ふくろうの家」	ふくろう手芸品、米、野菜など
ゆのはな作業所	柳手芸品、古着ビーズなど
「はこべの家」共同作業所	フランクフルト、から揚げ、ポテトなど
おおや作業所	木工、さをり小物、布巾、ごみ袋など

地域ネットワークのご紹介③

西宮市授産活動振興委員会

西宮市

このページでは兵庫県内において活動されている、各地域のネットワークをご紹介します。今回は西宮市授産活動振興委員会の活動を新生会作業所の高田嘉敬さんにご紹介いただきました。

西宮市授産活動振興委員会は2000年6月、新生会作業所を事務局として誕生しました。

新生会の創業は、1970年。大阪万博の年です。以来、地域の印刷屋として、ハンディのある青年たちと一緒に印刷事業を営んできました。(さて、作業所から見て、大阪万博と昨年の愛地球博の最大のちがいは何でしょう？作業所の製品が愛地球博会場でたくさん販売されたことです。実は、『キッコロ&モリゾー』グッズなど作業所メイドの商品がたくさん登場しました)

その後、1986年に新生会作業所(社会福祉法人新生会運営)ができました。今年20周年。新生会作業所では、事業部が4つあります。印刷部・軽作業部(クリエイティブ部に社名変更したばかり)・喫茶『たんぽぽさん』・製菓『菓車(かしや)』・園芸部です。「働く=仕事を創る」をキーワードに、食品製造・製造下請け・印刷業・園芸・ダイレクトメール・商品の仕入れ販売、など小規模多角経営で、一人でも多くの利用者が働けように「職場」を広げてきました。

利用者に少しでも多くの給料を確保することは、作業所の最大の使命です。私たちは、思いつくかぎりの「働く仕組み」を作ってきたつもりですが、ビジネスモデルとしては、まだまだ脆弱です。端的に言ってあまり儲かっていません。利用者の給料は、驚くほど低いのです。作業所は力不足です。ぜひ、市民のみなさんの辛口の応援が必要です。作業所のチャレンジ(「働く仕組み」の創出)に、市民のみなさんの応援を待っています。ビジネスのアイデア提供・作業所の商品の消費者・製造のボランティアなどなど、作業所が応援していただきたいことはいっぱいありますので、よろしくお申し込み申し上げます。

もうひとつ、この春から作業所が始まって以来の激動の真只中にあることもお伝えしておかなくてはなりません。作業所は「ハンディのある人が地域で働く」を応援するところなのですが、今年4月から、「障害者自立支援法」によって作業所が実質有料施設になってしまいました。「利用料(自己負担)を払って働く」作業所には、本当に職場といえるのか？という矛盾が突きつけられています。3年後に障害者施策の多くが介護保険に吸収合併されるタイムテーブルの中で、作業所は何のために創られたのか、改めて問われています。兵庫県下で500箇所を超える作業所の働きに、皆さんご注目ください。

西宮市授産活動振興委員会は、6年前(2000年6月)に誕生しました。市内の作業所や更生施設が参加しています。西宮市では、『New life party』(アート(障害者芸術)とワーク(作業所など)を包摂したイベント)という形で障害者週間の啓発事業が始まったときに、市内作業所が横に連携できるネットワークができました。西宮市授産活動振興委員会です。長い名前ですが、そのものズバリ、西宮市内の作業所の授産活動のネットワークです。イベントやバザーなど共同の取り組みが始まりました。この間の主な取り組みは、1) 共同受注、2) 共同出展(店)、3) 受託事業、4) 助成事業などです。

毎年秋の『にしのみや福祉縁日』をご紹介します。市役所前の公園で作業所を中心に保育所や福祉団体が集まって、作業所の店や障害のある人たちとの出会いを通じて、市民との交流を深めるのが目的です。この数年は1,000人ほどの市民の参加があります。

現在の課題は、参加作業所の広がり。市内の作業所が40箇所余りある中で、約10箇所ほどの作業所が常時参加しています。さらに多くの作業所が横に連携できるネットワークになればと思っています。



にしのみや福祉縁日



西宮市授産活動振興委員会・活動の一例「牛乳パックのリサイクル推進プロジェクト」

就労支援機関の ご紹介③

このページでは兵庫県内で活動されている就労支援機関をご紹介します。

宝塚市障害者就業・生活支援センター「あとむ」

昨年の春、宝塚市が市立勤労市民センター内に 宝塚市障害者就業・生活支援センター「あとむ」を開設し、(社福)宝塚さざんか福祉会が委託を受け事業を実施しています。

「あとむ」という名前の由来は「あきらめず・とどまらず・むかっていこう」の頭文字をとったもので、地域生活に向けてチャレンジしていこうという意味とともに、英語の頭文字の「A・T・M」、あの現金自動支払機のようにいつでもどこでも必要なサービスを提供していこう、というセンターの思いも込められています。

1 設立までの経緯

宝塚さざんか福祉会は知的障害者施設(現在5施設2センター)を運営して30年近くになりますが、平成5年に4つ目の通所授産施設を開設したのを機に、かねてより関係者から要望のあった就労への取り組みを積極的に開始しました。

その後平成6年には市より法人に「職域開発指導員」(就

労支援専門)1名が加配、平成12年には市の勤労対策課にも「障害者職場定着指導員」1名(のちに2名)が新設され、両者が互いに連携を取りながら就労支援を実施してきましたが、更に効率的に進めていくために、昨年度両事業を一旦解消し内容も充実させて改めて「障害種別を問わない」「市民のための」センターとして新設されました。

2 支援体制～今後の課題～

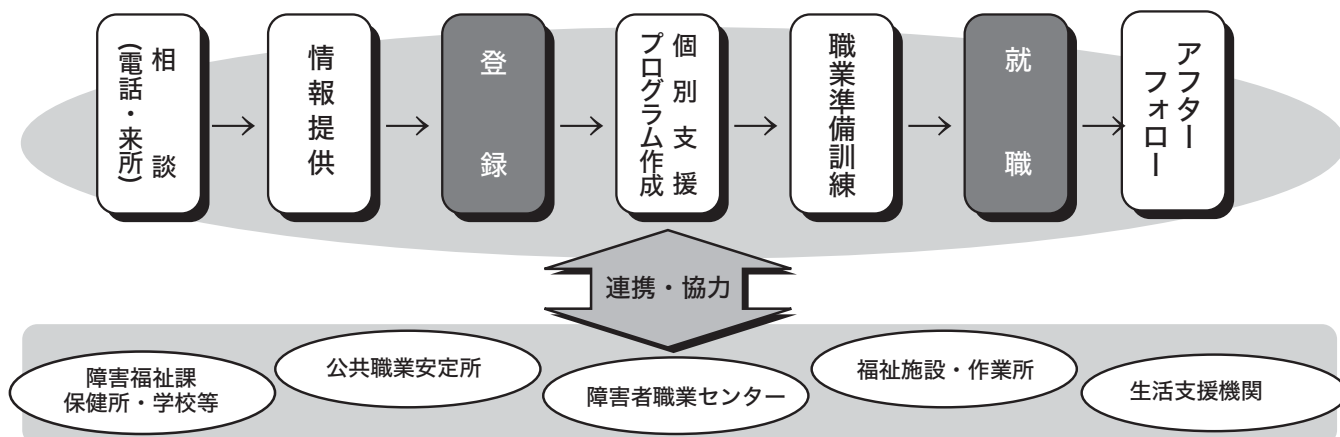
当センターは市の単独事業であり、支援対象は原則として宝塚市民となっていますが、国の「職場適応援助者事業」の助成金も受けており、この事業の対象者については他市の人も一部含まれています。

職員体制は、所長・事務が法人施設と兼務、副所長1名、支援ワーカー3名のほか非常勤のスーパーバイザーで構成されています。

昨年度はスタートの年でしたが、この1年間で多くの市民

や関係機関から就業やそれに関わる生活の相談が数多く寄せられ、職員は全員フル回転で支援に東奔西走の状況でした。今後は、この春制定された自立支援法にもあるように、ますます「障害を持つ人が働くこと」が重要な課題となってきます。より多くの方に就業のチャンスを提供し豊かな地域生活を送って頂けるよう、厳しい職員体制ではあるものの、これまで以上に充実した支援に取り組んでいきたいと思えます。

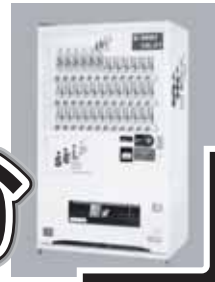
3 基本的な支援の流れ



お問い合わせ先

〒665-0031 宝塚市末広町3番78号 宝塚市立勤労市民センター内
宝塚市障害者就業・生活支援センター「あとむ」TEL 0797-76-5145 FAX 0797-77-2678
Eメール atomushien@sazankafukushi.com 社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会

セルフ自動販売機を置いて 授産収入を上げませんか



兵庫セルフセンターでは、日本セルフセンターの『セルフ自販機の設置事業』を進めています。施設・作業所で設置することにより、販売代金の一部が施設・作業所に還元され、授産収入アップの一躍を担うことができます。是非ともご活用ください。

実際にセルフ自動販売機を設置されている ワークプラザ宝塚さんにお話をうかがいました。

●導入を決められた理由は何ですか？

セルフの活動を応援したいという思いがきっかけで導入しました。また1台の自動販売機で、いろんなメーカーの商品が販売できるという点も決め手のひとつです。

●設置されている場所はどこですか？

通所施設と入所施設の間にある渡り廊下のくつろげるスペースに設置しています。施設内ですので利用者の方が購入する場合、外まで買いに行く必要がなく便利です。ただ、利用者の方が買いすぎないように十分に配慮はしています。

●セルフ自動販売機を導入して よかったと思う点は？

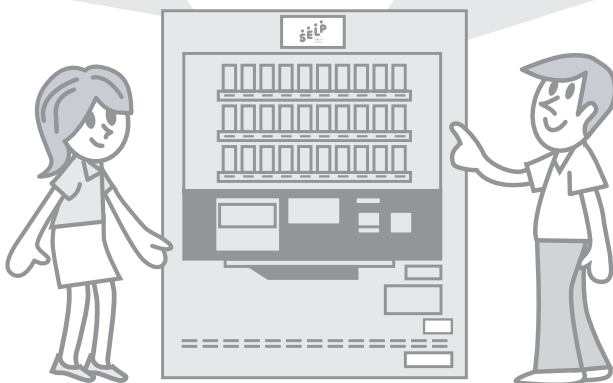
飲料の種類がいろいろ揃えられたのでよかったと思います。また、私達の場合はメンテナンスを業者の方にすべてお任せしていますので、自分達が手をかけることなく、収入につながっているということが大きな利点だと思います。



セルフ自動販売機はベンチやテーブルがあり、ゆったりとくつろげるスペースに設置されています。

セルフ自動販売機は

- 各飲料メーカーの売れ筋商品による商品構成
- SELP統一自販機による展開
- 電気料金・事務経費の削減による経済効果



セルプ自動販売機についての

Q&A

Q. セルプ自動販売機のメリットは何ですか？

A. 売れ筋飲料を、メーカーに関わらず自販機に搭載するので、他自販機との差別化が図られます。またSELPロゴマーク入り自販機を設置するので、「広告塔」としてのメリットもあります。また、お客様にはSELP自動販売機の商品の購入を通して、社会貢献活動に参加いただけます。

Q. 月々にかかる経費はいくら？

A. 月々かかる経費は、電気代のみです。ひと月あたり5千円から6千円（基本料金を除く）位を目安にして下さい。

Q. 自販機は設置者が購入するのですか？

A. 株式会社ジェイアール東日本商事との契約により無償で貸与されます。

Q. 自動販売機設置の工事費用負担は誰がするのですか？

A. 電源工事までは設置者で手配し、費用を負担していただきます。自販機設置に必要な電源は、電圧単層100Vで電気容量15Aの専用コンセントです。また自販機付属の電源コードが5Mですので、自販機設置場所より5M以内のところに電源を準備してください。

Q. どのようなメーカーの商品を扱っていますか？

A. 数メーカーの飲料が取扱えます。各メーカーの人気飲料を1台の自動販売機で販売することが可能ですので、売れ筋商品の搭載などによる売上アップが望めます。なお、地域により取扱いができない飲料もございます。

Q. オペレーション(商品補充・空缶回収・つり銭管理など)は誰が行うのですか？

A. 株式会社ジェイアール東日本商事が窓口となり、保守などその他各種サービスはフルオペレーションで対応いたします。

Q. オペレーションを設置者が行うことは可能ですか？

A. 可能です。その場合は納品価格を安く設定いたします。なお、オペレーション内容によって価格が異なりますので、個別相談をさせていただきます。

Q. 設置スペースはどのくらい必要ですか？

A. 自動販売機を柱や壁などの間に埋め込み方式で設置する場合は、安全運転をはかるために左右及び奥行に10cm程度のゆとりをとって下さい。また、設置場所に応じて自動販売機の転倒防止を図るため。自動販売機足部に鉄板もしくはブロックを設置することがあります。

Q. 自動販売機のサイズはどれくらいですか？

A. 現在使用している機種は3種類あります。
① 30セレSELP仕様自販機 (H1830×W1161×D693)
② 20セレSELP仕様自販機 (H1830×W870×D693)
③ 30セレバリアフリー自販機 (H1832×W1161×D903)

Q. 仕入価格と販売価格について

A. 株式会社ジェイアール東日本商事との契約にもどづく価格になっています。詳細はお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込みは

希望される方は次ページの申込書からお申し込み下さい。



特定非営利活動法人
兵庫セルプセンター 担当：嵩(しま)
TEL 078-291-7332 FAX 078-291-7356

〒651-0072
神戸市中央区脇浜町1-2-3 西山ビル602号
Email: selp-kobe@hyogo-selp.jp
URL: <http://www.hyogo-selp.jp/>

★兵庫セルプセンターは、日本セルプセンターと事業協力しています★

前ページでご紹介したセルフ自動販売機の設置を希望される方は、下記申込書にご記入いただきFAXでお送りください。

SELF自動販売機設置申込書 兵庫セルフセンター宛 FAX.078-291-7356

SELF自動販売機の設置を申し込みます。

年 月 日

企業・団体・施設名 _____

代表者名 _____ (印)

担当者 _____

所在地 _____

設置場所 _____

電話番号 () - FAX () -

(注) 企業や団体様が申し込みの場合は、お手数ですが紹介施設をご記入ください。

紹介施設： 担当者： 電話番号： () -

1. 予定設置台数 (計 台)
2. 既存の自販機からの変更ですか？、新規に自販機を設置しますか？ (新規に設置・既存のものを変更)
3. 設置を希望する自販機のサイズはどれですか？
 - (1) 30 セレ SELF 仕様自販機 (台)
 - (2) 25 セレ SELF 仕様自販機 (台)
 - (3) 20 セレ SELF 仕様自販機 (台)
 - (4) 30 セレバリアフリー自販機 (台)
4. 予定設置箇所はどこですか？ (屋内・屋外)
5. 予定設置箇所はどこですか？ (例・食堂に1台)

6. 予定設置箇所に電源はありますか？ (はい・いいえ)
7. 希望飲料メーカーはありますか？ (はい・いいえ)
8. 7で「はい」とお答えした方にお聞きします。
 具体的なご希望の飲料メーカーはどこですか？ _____

■取扱い者/株式会社ジェイアール東日本商事
 (本社) 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-4-1 THビル2F
 TEL.03-5322-7655 FAX.03-5352-7697
 URL : <http://www.erjt.co.jp/>

■お問合せ先/特定非営利活動法人兵庫セルフセンター
 〒651-0072 兵庫県神戸市中央区脇浜町1-2-3 西山ビル602号
 TEL.078-291-7332 FAX.078-291-7356
 URL : <http://www.hyogo-selp.jp/>

～兵庫セルフセンター 賛助会員募集のご案内～

「障害がある方の働く願いと作業所の元気をつなぐ」ために、授産施設や小規模作業所等に主体的に参画していただくとともに、広く一般の皆様から支えていただくための賛助会員を募集しております。ぜひご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

- 賛助会員参加費：個人一口 3,000円 (年間)
- 振込先：郵便振込口座00970-7-265281
 特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター

〈編集〉せるぶる編集委員会
 〈お問い合わせ〉
 兵庫県社会就労センター協議会
 特定非営利活動(NPO)法人兵庫セルフセンター
 〒651-0072神戸市中央区脇浜町1-2-3 西山ビル602
 TEL:078-291-7332 FAX:078-291-7356
 E-mail:selp-kobe@deluxe.ocn.ne.jp
 HP:<http://www.hyogo-selp.jp/>